

今どきリフォーム事情

～ 玄関ドアを新しくする～

家の第一印象になる玄関ドア。玄関ドアを新しくすると、様々なメリットがあります。古くなったら見直してみませんか？

◆今どきの玄関ドア

最新の玄関ドアは、防犯性が高くなっています。鍵が2か所にあり、ピッキングがされにくい構造の鍵も多く見られます。帰宅した時に、スマートフォンで開けたり、顔認証で開けたり、鍵をバッグに入れたままで開けられるタイプもあるので、荷物が多くても安心です。また、鍵をかけたか不安になった時に、スマホで確認することが出来るタイプもあります。

玄関のジメジメが気になる場合は、採風タイプのドアがおすすめです。網戸の付いた採風窓を開ければ、風通しもよくなります。窓が大きなデザインを選ぶと、玄関を明るくすることも出来ます。カラーバリエーションも豊富なので、家の雰囲気に合わせて選べます。

◆工事期間は？

今の玄関の枠の内側に新しい枠をつけて、ドアを取り付ける工事も可能です。そうすると、外壁を触らずに工事が出来るので、最短だと、1日で工事が完了します。

◆補助金は？

最新の玄関ドアは、気密性とドア自体の断熱効果が高くなっています。今なら、窓と一緒にリフォームすると、補助金の対象になります。玄関ドアは外に面した大きなスペースなので、断熱効果が良くなると、光熱費の削減にもつながります。



棟梁の日記

皆さん！こんにちは

9月19～25日は秋のお彼岸です。お彼岸はお墓参りやお供えをしてご先祖様を供養する日ですが、お彼岸のお供えものに欠かせないのが「おはぎ」です。

おはぎは、もち米とうるち米を混ぜて炊き、すり潰して丸め、小豆餡で包んだり、餡を包んできな粉をまぶしたりしたもの。似たようなもので「ぼたもち」と呼ぶ場合もあります。

この2つは同じもので、春のお彼岸に供える場合は牡丹の花にちなんで「牡丹餅(ぼたもち)」、秋のお彼岸に供える場合は萩の花にちなんで「御萩(おはぎ)」と呼びます。実は見た目も少し違って、ぼたもちは大きめで丸い形、おはぎは小ぶりで俵の形に作られています。さらに、餡の材料となる小豆が秋に収穫されるため、とれたての小豆が使える秋のおはぎは小豆を皮ごと使ったつが餡で、冬を越した春のぼたもちは固くなった小豆の皮を取ってこし餡で、それぞれ作られています。今と違って昔は甘いものが貴重だったので、おはぎはお祝い事に欠かせないご馳走として、大切に作られ、お供えされたのでしようね。

- ・会社名 有限会社 野瀬建築（創業昭和37年）地域と共に六十四年
建設業許可（般-3）第6685号 設計事務所登録第2-1154号
- ・提供できるもの 介護リフォーム工事・リフォーム工事・耐震工事
（介護用住宅）
- ・モットー 安心出来る住まいの提案。
- ・会社の場所 三重県津市高茶屋七丁目6番36号
- ・連絡先 フリーダイヤル 0120-34-1829
- ・E-mail nose@noken.jp
- ・ホームページ <https://www.noken.jp/>

※配信の停止を希望される場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください。



暑ささも彼岸まで！皆さん如何お過ごしでしょうか、茹だるような暑さも少し和らいだようにも感じますが皆さんお気をつけ下さい。来月も頑張ってお届け致します、お楽しみに！